

# はやちね 早池峰の高山植物

早池峰山（1,917m）は、<sup>ふか だきゅうや</sup>深田久弥の『日本百名山』に選定されており、<sup>た なかすみ え</sup>田中澄江の『花の百名山』では高山植物の宝庫として紹介されています。その美しい自然と豊かな植生を求めて、全国から登山者や高山植物の愛好家が訪れる人気の山です。

薬師岳を含む早池峰連峰には、およそ 650 種を超える植物が自生しており、そのうち約 200 種は、固有種や北限種・南限種などの希少な高山植物です。これらの植物群落は学術的にも極めて貴重であり、「早池峰山及び薬師岳の高山帯・森林植物群落」として、国の特別天然記念物に指定されています。

早池峰山に高山植物が豊富に生育している大きな要因の一つが、主に山を構成する<sup>じゃもんがん</sup>蛇紋岩です。蛇紋岩に多く含まれるマグネシウムイオンには植物の生育を阻害する性質があり、一般的な植物が根付くのは困難なため、過酷な環境に適応した特定の植物だけが生き残る生態系が形成されています。

このような厳しい環境のもと、氷河期以来の長い歳月をかけて土壤に適応してきた高山植物が今もなお命をつないでいます。その結果、早池峰山は「高山植物の宝庫」として、高い評価を受ける存在となっています。